

つなごう未来 次世代へ

市内には、国宝をはじめとする数多くの貴重な文化財が存在しています。市ではこれらを将来に渡って保存、活用するため、10年間の計画として新たに「交野市文化財保存活用地域計画」を策定しました。

今月は、この計画の概要をお知らせするとともに、関連して開催される記念行事についてお伝えします。

☎ 社会教育課文化財係 ☎ 893-8111



「交野の歴史文化」を守り伝える

交野では、市域の豊かな自然や地域の人々の暮らし・営みと密接に関わりながら、多様で豊かな文化財が連綿と受け継がれてきました。平安時代の国宝・薬師如来坐像(獅子窟寺)や、鎌倉時代の仏師快慶作の国指定重要文化財・阿弥陀如来立像(八葉蓮華寺)の他、多数市指定文化財がある仏像は、「交野の文化財の顔」の一つです。

旧集落域に多く残る文化財は、地域コミュニティ組織により保存されてきましたが、高齢化が進むなか、継承が難しくなっています。一方で、増加している新興住宅地の住民は、地域の文化財に触れる機会が少なくなっています。

そこで、地域のみなさんに関心や愛着を持っていただくための“きっかけ”や“しくみづくり”そして将来に継承するための“人づくり”に重点をおき、保存と活用の具体的な「方針」や「措置」を明確にすることを目的として、「交野市文化財保存活用地域計画」を策定しました。この計画は、「交野の文化財」とそれを取り巻く「周辺環境」から構成される「交野の歴史文化」を対象とし、文化財保護行政を推進していきます。

国宝・薬師如来坐像(獅子窟寺)
※表紙写真

関連文化財群と 文化財保存活用区域

「交野の歴史文化」の特色から6つの関連文化財群、特に文化財が集積する私部地区と星田地区に文化財保存活用区域を設定し、一体的・総合的に保存活用の取り組みを進めます。

① 交野の王墓と鉄器生産

② 天野川とセタ伝承

③ 巨石信仰と社寺伝承

④ 交野の城と安見氏の記憶

⑤ 徳川支配と伝統的な町並みの成立

⑥ 近代産業と鉄道の発展



国指定重要文化財・阿弥陀如来立像(八葉蓮華寺)

文化財保存活用地域計画とは

全国的な人口減少と少子高齢化等により生じている課題に対応するため、「文化財保護法」改正によって、市町村が文化財の保存・活用に関する総合的な計画を作成し、文化庁長官の認定を受けることが制度化されたものです。交野市の地域計画は、令和4年12月に国の文化審議会文化財分科会の答申を経て文化庁長官の認定を受けました。大阪府内で5番目、北河内では初の認定となりました。



記念行事のお知らせ

教育委員会では市民のみなさんに計画の内容を知っていただくため、記念行事を企画しました。奮ってご参加ください。

交野市文化財保存活用地域計画の 説明会

日時 1/22(日)10:00～11:00
場所 市役所別館3階 中会議室
講師 社会教育課職員

「交野の歴史文化」を体験する

日時 ①1/29(日)14:00～15:00②2/5(日)10:00～11:30
場所 ①倉治図書館2階視聴覚室②青年の家ロビー(集合)
内容 ①市指定文化財の仏像を見学②私部文化財保存活用区域(北田家住宅、私部城跡ほか)を見学
講師 社会教育課職員
ほかにも河内磐船駅周辺で古墳時代の鍛冶工房・森遺跡の説明会も実施(12月号18ページ掲載)。

記念講演会

日時 3/18(土)13:00～16:30
場所 市役所別館3階 中会議室
講師 ①村上恭通さん(愛媛大学アジア古代産業考古学センター長)②社会教育課職員
演題 ①「古代遊牧社会の鉄・古墳時代社会の鉄」
②「交野・枚方市域の王墓と鉄器生産」

日時 3/25(土)13:00～16:30
場所 市役所別館3階 中会議室
講師 ①若林邦彦さん(同志社大学歴史資料館教授)ほか②山下浩郎さん(交野市鍛冶実験担当者・刀匠)
演題 ①「鉄器製作から弥生社会を考えてみる」
②「弥生～古墳時代の鉄器製作に挑む」
教育文化会館で関連展示会も実施(12月号18ページ掲載)。

日時 3/4(土)13:30～15:00
場所 市役所別館3階 中会議室
講師 藤田達生さん(三重大学教授)
演題 「戦国時代の軍事革命—安見流をはじめとする砲術の意義—」
申込 2/15(水)から受付フォームまたは電話・FAX
☎ 社会教育課文化財係☎893-8111 FAX892-1700

